

## 設計ガイド

ドア錠

1

丁番

2

スライド

丁番

3

開き戸

金具

4

引戸錠

5

引戸

金具

6

上吊式

引戸金具

7

移動

間仕切

金具

8

折戸

金具

9

室内用

アルミ建具

10

取手・

引手

11

スライド

ワイヤー

バスケット

12

収納・

吊金具

13

その他の

家具金物

14

物干金具・

諸金具

15

真鍮

アンティーク

16

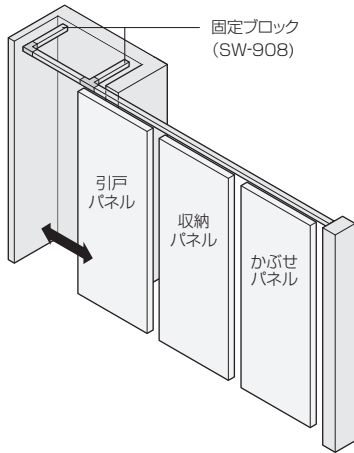
設計

施工

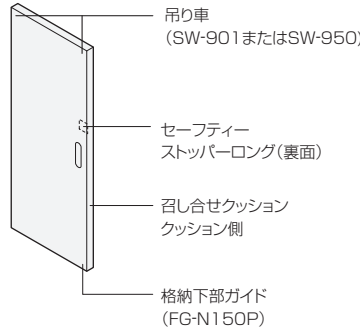
ガイド

会社案内

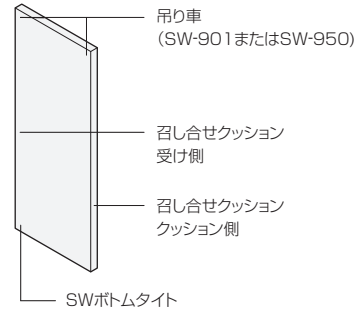
### ■パネルの種類と取付け金物



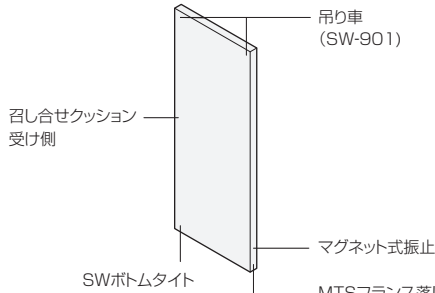
#### ●引戸パネル



#### ●収納パネル



#### ●かぶせパネル

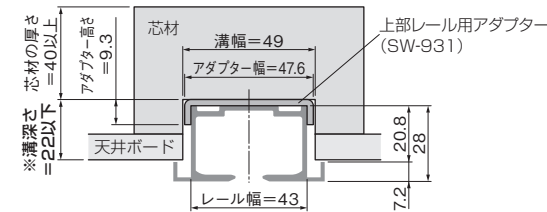


※パネル収納時に、かぶせパネルを固定するのに使用します。

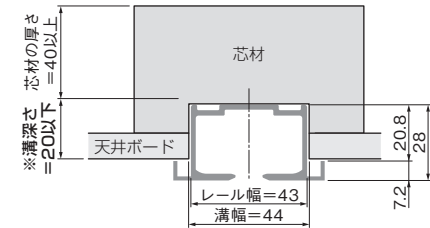
### ■レールを取付ける芯材・溝深さについて

パネルの重みで天井が垂れ下がるおそれがあります。レールを取付ける芯材は、あらかじめ十分な強度を持たせた構造にしてください。

#### アダプターを使用する場合



#### アダプターを使用しない場合

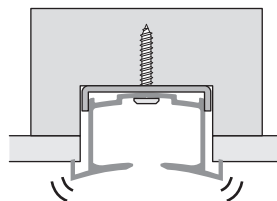


### ご注意

#### ●ツバ付きレールの溝深さについて

※溝深さは、仕上げを含む天井の厚さと芯材の溝深さを合計した寸法です。

※溝深さが指定寸法より大きいと、溝の底面とL型継ぎ・T型継ぎ天面の間にすきまがで、ねじ止めした際にL型継ぎ・T型継ぎが変形してしまいます。それにより、直線レールとL型継ぎ・T型継ぎに段差が生じ、吊り車が引っ掛かるなど、円滑な操作が行えなくなります。

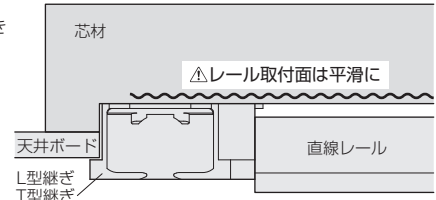


#### ●ツバなしレールにアダプターを使用する際の溝深さについて

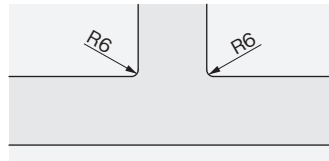
※溝深さを10mm以上にすると、アダプターの露出を防ぐことができます。ただし、レール下面を鉛直下から見上げると、アダプターの板の厚み(2.3mm)が見えます。溝を掘らずに面付にすると、アダプターが露出し、アダプターを取付けていない部分からは光漏れが生じます。

### ご注意

●アダプターを使用しないとき L型継ぎ・T型継ぎとレールを接続する取付面は、上下方向に段差が生じないように、平滑にしてください。段差が生じた場合、段差に吊り車が引っ掛かり、円滑な操作が行えなくなります。



●アダプターを使用せずレールを埋め込む場合、L型継ぎ・T型継ぎ溝の内側には、R6の加工が必要となります。



※図は、T型継ぎの場合

●全開したパネルがまとめて収納される箇所(下図a部)の上レール(SW-900またはSW-920)のねじ穴間隔は100mm以下にしてください(標準品は、ねじ穴間隔300mmです)。

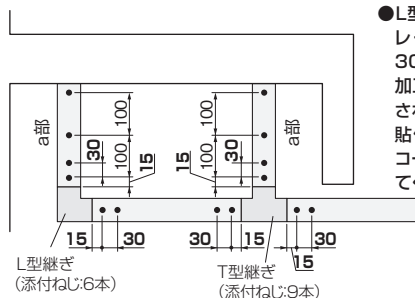
●ねじ長さはパネルの質量を考慮のうえ、お選びください。

●レール取付け面には段差を作らないでください。

●レールの継ぎ目は必ずそろえて、段差ができないようにしてください。

●収納パネルを収納した際、すべてのパネルがa部に納まるようにしてください。

●T型継ぎ、L型継ぎに、吊り車が長時間留まることのないように設定してください。



●L型継ぎ・T型継ぎに接する直線レールは、端部から15mm・30mmの位置にφ6の貫通穴を加工し、L型継ぎ・T型継ぎに添付されているSW-930(誘導板)を貼付けてから、ねじ(ノンヘッドコーススレッド4.8×45)で止めてください。